

東大和ウォーキングマップ (桜が丘編)

このマップは、東大和市の自然や文化財に親しみながら街づくりを見ていただけるように作成したウォーキングマップです。

本編では、新しく生まれ変わった街、「桜が丘」を紹介します。桜が丘2・3丁目は、戦時中は軍需産業、戦後は米軍駐留と、戦争との関わりが多い地でしたが、大和基地跡地整備によって緑豊かな街が誕生しました。歴史を物語る戦災建造物などを見ながら、平和について思いをはせてみてください。

※印の後の番号は、表面の番号(○囲み数字)の場所を表しています。

やまときちあとち 大和基地跡地 ※①

玉川上水駅前広場に石碑があるのをご存じですか？この石碑は日米友好の碑です。

このあたりには、昭和30年から昭和48年まで、34万平方メートル(東京ドームの約7倍)の広さに及ぶ米軍大和基地がありました。現在では、その跡地が駅前広場、公園、高層住宅、教育施設等になっています。



きゅうひたちこうくき へんでんしよ 旧日立航空機株式会社変電所 ※②

日立航空機は、飛行機のエンジンを製造する軍需工場であったため、第二次世界大戦中に米軍の攻撃を受けています。工場の北西にあった変電所の壁には、機銃掃射や爆弾の破片に当たってできた穴がたくさん残っています。戦後、経営者が変わってもそのまま使用され、平成5年12月まで稼動していました。

その後一時は取り壊しが予定されていましたが、平成7年に東大和市の文化財(史跡)に指定され、保存が決められました。「西の原爆ドーム、東の変電所」と、全国でも数少ない文化財指定を受けた戦災建造物です。



あしゆ ともれびの足湯 ※⑥

ともれびの足湯は、ごみ焼却施設の余熱を利用した施設です。あずま屋付きの足湯が2つと露天型の足湯があり、2つの手湯もあります。

利用時間 3月～9月：午前9時半～午後4時半
10月～2月：午前9時半～午後4時
休みの日 毎週木曜日(祝日の場合は翌日)
12月29日～1月3日
焼却施設の点検日

利用料 無料
電話 042-341-4345
(小平・村山・大和衛生組合)



たまがわじょうすい のびどめようすい 玉川上水・野火止用水を歩く

野火止用水沿いの緑道を歩いて行くと、水辺にはカルガモ家族の姿やコイの群れも見られます。水面に映る新緑はまぶしく、葉の落ちた木々の枝先には小鳥たち。家族で散歩するには、ぴったりのコースです。



☆コースで見られるモニュメント(東大和市美術工芸品)☆

～市内に伝わる「よもやま話」を主なテーマとして現在27体のモニュメントがあります～

あか かせ 「赤っ風」(モニュ) ※①

春先の季節風「赤っ風」を大胆に表現したものです。玉川上水駅前交番北にあります。



他に、「鳥と子供たち ※⑧」もコース上にあります。

ちからいし 「力石」(モニュ) ※③

娯楽の少ない昔、「力試し」は村の楽しみの一つでした。神社の境内には大抵「力石」といわれる格好の石が置いてありました。重さは70kgほどだったそうです。



「桜」(モニュ) ※⑦

市内を東西に走る桜街道は、もとの青梅街道で江戸街道とも言いました。ここにあった美しい桜並木は、明治15年頃に植えたそうです。現在ある桜は新しく植えたものです。



「啓示」(モニュ) ※④

人・自然・時を一つの形にして、時代をゆっくり進もうという姿を表現しています。台の部分は大地を表し、その上で人々は手を広げ歓喜しながら前へ動き進もうとしています。



◆モニュメントマップは下記QRコードから



表面



裏面

～ウォーキングマップ姉妹編のご案内～
「野火止用水編」「多摩湖編」「郷土博物館編」があり、市役所、東大和市駅、上北台駅、武蔵大和駅、郷土博物館等で配布しています。

(問い合わせ)

東大和市まちづくり部都市づくり課
TEL042-563-2111 内線(1255)